

|日|本|画|家| ●郷土作家

岩原良仁展

余白を描く



《ひととき》1992年

平成27年 7月23日(木) — 8月15日(土)

| 開館時間 | 午前9時～午後5時(初日は開場式のため午前10時30分から)

| 休館日 | 月曜日 | 観覧料 | 無料

| 主催 | 豊川市桜ヶ丘ミュージアム・中日新聞社 | 共催 | 東愛知新聞社

| 後援 | 愛知県教育委員会・豊川市教育委員会・東海日日新聞社

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

昭和12年、宝飯郡豊川町に生まれた岩原良仁は、中学時代から画才を発揮し日本画家の夏目泰果等に手ほどきを受けながら、京都市立美術大学に進学します。在学中には新制作展等に出品し、卒業の翌年には春季賞を受賞します。その後も多くのコンクールで入選や受賞を果たし、昭和37年には我妻碧宇、森緑翠、永井繁男・飯田史朗らが立ち上げた白士会に参加。以降は同会を発表の母体として、心炎会日本画展や風景の会絵画展などにも発表の場を広げました。

初期には、激しい筆致で実験的な作風を試みますが、次第に日本画の伝統的な「余白」を現代に置き換えた独特の空間表現を会得します。モチーフとなる人物や風景は画面上で再構成され、静謐な画面の中にも温かみのある色彩で独自の世界観を創出しました。

一方、現名古屋造形大学で多くの後進を育て、平成9年度には愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞しました。

本展は、郷土を代表する日本画家、岩原良仁の初期から現在を辿る回顧展で、約50点の本画の他、素描や下図などもあわせて紹介いたします。

日本画家
郷土作家

岩原良仁展 余白を描く



1



2



3



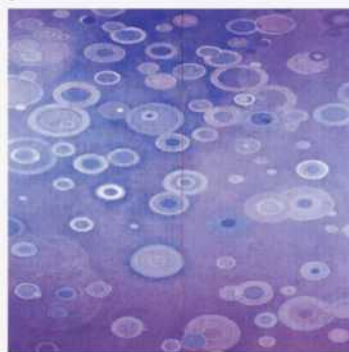
4



5



6



7

- 1.《飛鳥》1962年
- 2.《少女と鳥と青空のコンポジション》1985年
- 3.《御嶽清風》1991年
- 4.《桜トンネル》1999年
豊川市桜ヶ丘ミュージアム蔵
- 5.《青空(A)》1998年
- 6.《コンポジション(小さなものたち)》2009年
- 7.《水面のコンポジション》2003年

関連行事 【全て無料】

■講演会「自作を語る」

7月25日(土) 14:00～
講師：岩原良仁 / 定員50名 ※予約不要、直接会場へお越しください。

■キッズ・ワークショップ

7月26日(日) 13:00～15:00
「岩絵の具で描いてみよう」 講師：岩原良仁
申込み：6月6日(土) 9:00～ / 電話か窓口で先着順に受付
8月15日(土) 13:00～15:00
「スクラッチでカラフルな魚を描こう」 講師：井上雅文
申込み：7月4日(土) 9:00～ / 電話か窓口で先着順に受付

■アーティストトーク(作家による作品説明会)

8月2日(日) 14:00～ ※予約不要、直接会場へお越しください。

■ギャラリートーク(担当学芸員による作品説明会)

8月8日(土) 14:00～ ※予約不要、直接会場へお越しください。

■交通案内

- ◎電車
JR飯田線「豊川」駅・名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分
- ◎バス
豊橋駅東口バスのりばから豊鉄バスで「イオン豊川店」下車徒歩約5分
JR「豊川駅前」のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで、「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分(豊川駅前 8:54 / 10:15 / 12:20 / 14:14 / 16:14発)
- ◎車
東名高速道路「豊川IC」から約10分(駐車場約100台 / 無料 / 公園と共用)

※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗合せにご協力ください。

